

# 令和元年度 保幼小連携地区ブロック活動報告書

- 1 地区ブロック名 元総社 地区ブロック  
 今年度のテーマ ポイントとなる姿（ 健康な心と体 ）
- 2 地区ブロックの組織（ブロック内学校・園・所名）
- ・元総社小学校      ・元総社南小学校      ・元総社北小学校
  - ・認定こども園鈴蘭幼稚園      ・認定こども園元総社幼稚園
  - ・しゃか保育園      ・しゃか第二保育園      ・中央大橋保育園
  - ・元総社保育所      ・石倉保育園

## 3 連携推進活動（実施した交流活動等）

日 時	場 所	内 容
6月 8日（土）	しゃか第二保育園	運動会（自由参観）
6月12日（水）	元総社小学校	地域学習参観
6月21日（金）	元総社北小学校	学校公開（自由参観）
6月22日（土）	しゃか第二保育園	4・5歳児 保育参観（自由参観）
6月27日（木）	元総社南小学校	学校公開
6月29日（土）	元総社北小学校校庭	ホタル祭り（地区のお祭り）
6月29日（土）	元総社幼稚園	夏祭り（自由参観）
7月 6日（土）	しゃか保育園・しゃか第二保育園	夏祭り（盆踊り）（自由参観）
7月27日（土）	中央大橋保育園	夏祭り（自由参観）
9月14日（土）	しゃか第二保育園	2・3歳児 保育参観（自由参観）
9月21日（土）	石倉城外堀公園	中央大橋保育園運動会（自由見学）
9月28日（土）	元総社小学校	運動会
9月28日（土）	元総社南小学校校庭	運動会
9月28日（土）	元総社北小学校校庭	運動会（自由見学）
10月 5日（土）	鈴蘭幼稚園 （群馬医療福祉大学アリーナ）	秋季大運動会
10月 5日（土）	元総社保育所	運動会（自由参観）
10月12日（土）	石倉保育園	運動会（自由参観）
<b>○10月30日（水）</b>	<b>石倉保育園</b>	<b>公開保育参観・地区ブロック研修会</b>
11月 9日（土）	鈴蘭幼稚園園庭	秋祭り&バザー
11月15日（金）	元総社小学校	地域学習参観
11月19日（火）	元総社南小学校	学校公開
12月 3日（火）・4日（水）	元総社保育所	生活発表会（自由参観）
1月18日（土）	しゃか第二保育園	4・5歳児 保育参観（自由参観）
1月21日（火）	元総社南小学校 体育館他	かるた大会・学校公開日
2月 1日（土）	しゃか第二保育園	2・3歳児 保育参観（自由参観）
2月13日（木）	元総社南小学校	学校公開
2月20日（木）	元総社北小学校	学校公開（自由参観）

## 4 令和2年度の代表校園所【 元総社保育所 】

## 5 これからの保育・教育に生かしたいこと

- ・ 「全身を使った遊び」の時間では、30分近くめいっぱい体を動かす子どもたちの生き生きとした表情が印象的でした。体を動かすことが好きな子どもは、小学校の体育などにも意欲的に取り組めるので、このような活動の大切さを実感しました。
- ・ 困ったときに自分からお話しできない子、思ったことを絵や文で表現することが苦手な子が見受けられることについて、協議の中で話をしました。言葉で表現する体験の積み重ねの大切さ、伝えるときの教師の位置や子どもの心に入っていく努力、子ども同士が話をしているときの介入の仕方など、保幼小様々な立場の先生からの話を聞いたり、幼児教育アドバイザーの田子先生の指導助言を聞いたりすることができ、今後の指導において大変参考になりました。
- ・ 園庭で跳び箱を軽々と跳んでいる園児をたくさん見ました。今、1年生が跳び箱をしているのですが、なかなか跳べず、入学前にどんな運動をしていたかが、小学校の体育を大きく左右するのかなと感じています。「健康な心と体」とってもよい取り組みだと思います。
- ・ 5歳児のお子さんが園庭で楽しそうに、意欲的にサーキットをしている姿は、小学校の体育の目標である「運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う」と関連していて、幼児期から楽しく運動に親しむ態度を養うことができると小学校との連携が円滑になると思いました。小学校でも生かしていきたいです。
- ・ 全身を使った遊び、手指を使った遊びの活動を小さい年齢からの積み重ねで楽しく行っている様子を見て、しっかりした体幹が作られ、心も体も健康に育っていくことが感じられた。改めて他学年、他クラスの職員と連携し、よりよい保育を進めていこうと感じた。また、指導助言をしてくださった田子文子先生の『指示ではなく自分で考える力を養う』ことができるよう、保育士の言葉がけ、行動等の工夫と配慮をして、これからの保育に生かしていきたい。
- ・ 朝の全身を使った遊びがとても参考になりました。園庭やホールで伸び伸びと体を動かす子どもたちがとても良い顔をしていたと思います。立つ、歩く、走る動作に目が行きがちですが、もう一度ハイハイの大切さを見直してみたいと思います。また自らの気持ちを表現できない子への対応について、小学生になった際にそれが苦手なのは思いを伝えて共感してもらおう体験が少ないのかもしれないと思いました。我慢が苦手な子も同様です。気持ちが通じ合う体験を大切にしながら年長へとつなげていきたいです。

- ・ 石倉保育園では体をたくさん動かした後に静の時間を入れ、集中できるようにしていたため、子どもたちもきちんとけじめをつけて活動に取り組んでいるように感じました。また保育者も笑顔で楽しそうに体を動かしていて、楽しい雰囲気の中で子どもたちも積極的に参加していることがとても印象的でした。私も保育をする時は静と動の時間を分け、集中できるような環境を作っていきたいと思いました。また小学校の先生が自分のことを表現できない人が多いと話していたことについて考えさせられました。私も年長児クラスの担任として「自分の思いをきちんと相手に伝えること、言葉にすること」を伝えていますが、言葉にして伝えることが苦手な子もいます。自分の思いを言葉にする機会を作り、小学校に上がることを意識して日々の保育を行っていきたいです。
- ・ いろいろな体育遊びやリズム遊びを通して、子どもたちが楽しみながら体を動かしている姿が印象的でした。体の機能を存分に使った動きは、体力づくりの他、約束を守る姿勢や友達との関わりなど様々なことへつながっていくことを実感しました。子どもたちの生き生きとした姿から、心と体の健康を促進させ日々の生活が充実していることを感じました。分かりやすい言葉掛けや年齢別の活動により子どもたちの主体性を育てる工夫がたくさんされていて参考にさせていただきたいと思います。
- ・ 他園や小学校の先生方との協議を通して「健康な心と体」を育てるために必要なことは、幼児期での体験の積み重ねだと思いました。友達との遊びや関わりの中で、気持ちが伝わった、伝わらなかったの経験をする中で様々な感情に気づき、相手の気持ちにも気付けるのだと思います。毎日、様々なトラブルがありますが、このトラブルを幼児期のうちにたくさん経験することが就学に向けての準備にもなると確認することができました。今回の気づきを生かし、一人一人に寄り添いながら、自分の気持ちを表現することが自信へとつながるよう10の姿を意識した保育で、就学へとつなげていきたいと思います。

